

今週のメニュー

[トピックス](#)

建築・建材展2010出展に向けて

[随想](#)

ウガンダ旅行記(1) - ガードマン -

(社)日本化学工業協会 若林 康夫

[お知らせ](#)

【NEW】建築・建材展2010 出展のご案内

[編集後記](#)

トピックス

建築・建材展2010出展に向けて

3月9日から12日、東京ビッグサイトにおいて開催される建築・建材展2010に、当協会も昨年に引き続き出展することとなりました。

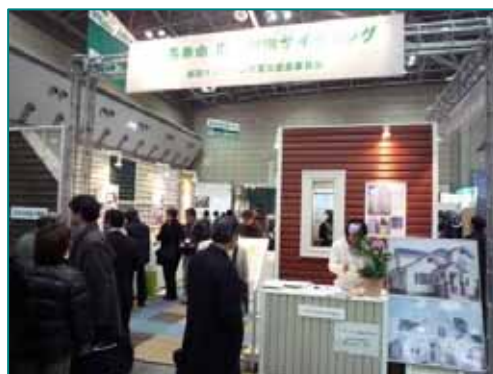
この1年の間に政権交代があり、多くの分野で新たな方向に舵が切られようとしています。建築分野でも新たな試みが進みつつあります。

その一つが、住宅エコポイント制度の創設。昨年12月に決まり、本年から実施されることとなりました。制度の創設は景気刺激策の側面もありますが、温暖化対策が遅れている民生部門(住宅)のCO2排出抑制を促すことも大きな目的で、窓の断熱改修や外壁、天井や床に断熱材を施すことに対してインセンティブが与えられることとなりました。

また、これに遡ること半年前に長期優良住宅普及促進法が施行となっています。この法律は温暖化対策を含む将来の日本の住宅の羅針盤とも言えるもので、構造躯体の劣化対策、耐震性、維持管理、更新の容易性、可変性、バリアフリー、省エネルギー性などが規定されており、こちらにも優遇税制や助成金等のインセンティブが与えられています。

一方、新設住宅着工件数はバブル期には170万戸に達していましたが、2009年は80万戸と半分以下となり景気の低迷や人口減少などにより更に減少することが見込まれる中、既存住宅を改修することにより丈夫で長持ちで快適な住まい作りをすることが求められる時代となってきています。

翻って、当協会は、今回の建築・建材展において樹脂サッシ、樹脂サイディングを中心に



昨年の建築・建材展

「構造躯体の劣化対策」「耐震性」「維持管理」「更新の容易性」のキーワードとの関わりについて、パネル展示や実際の家を想定したミニハウスの展示を通じ「丈夫で長持ちで快適な住まい作り」をご提案する予定です。詳しくは是非展示会にお越しいただきご覧頂ければと思います。(了)

随想

ウガンダ旅行記(1) - ガードマン -

(社)日本化学工業協会 若林 康夫

毎年、命知らずの旅を繰り返し、エチオピア、エリトリア、ナミビアとアフリカの様子をご紹介してきましたが、昨年9月にもまた、『東アフリカ』を訪問いたしました。その旅行記をお送りいたします。

「東アフリカ」と聞くとどの国を思い浮かべますか？
「そもそも東アフリカってどの辺り？」という方がほとんどでしょう。動物好きな人は「ケニア」を思い浮かべた方もいるかもしれません。

では、「ウガンダ」はどうでしょう。
ある程度以上の年齢の方は、ちょっと太った体型の芸能人「ウガンダ・トラ」さんを思い浮かべる方がいらっしゃるでしょう。

1970年代、反体制派を容赦なく殺害する恐怖政治を行い、約8年間の在職中に30万人以上の国民を殺した「アミン大統領」を思い浮かべた方はかなりの国際政治通です。

そこで、今年は、「東アフリカ」にある「ウガンダ(正式名称：ウガンダ共和国)」にやってきました。



[クリックで拡大](#)

いくつかの統計をCIA World Factbookで見ると、

人口：32,369,558人
平均寿命：52.72歳
出生率：2.69%
女性一人当たりの出産数：6.77人

この数字を見ると、なかなか子沢山の国のようです。

宗教は早くからヨーロッパの宣教師がやってきて布教活動を行ったことや、第二次世界大戦後はイギリス連邦に属していたこともあり、



首都カンパラ。
(中心部は整然とした街並みです。)

80%近くの人がキリスト教徒です。

イスラム教徒は約 12%、残りは古くからこの地方に伝わる宗教や無宗教の人です。

私がウガンダに到着した日はイスラム教徒のラマダン明けの日。イスラム教徒にとっては日本のお正月のような日で、町中がお祝い気分で盛り上がっていました。

盛り上がっていたのはイスラム教徒だけでなく、キリスト教徒の人も一緒。教会までラマダン明けを祝う色とりどりの電飾で飾られていました。

民族構成はこの国の内戦の歴史がよく分かるように見事にばらばら。

Baganda	16.9%	Acholi	4.7%
Banyankole	9.5%	Bagisu	4.6%
Basoga	8.4%	Lugbara	4.2%
Bakiga	6.9%	Bunyoro	2.7%
Iteso	6.4%	その他	29.6%
Langi	6.1%		

民族闘争に宗教闘争が加わり、さらにヨーロッパ諸国の利権争いも加わりと力で相手をねじ伏せる状態が続いていました。この闘争の中には、アミン大統領もいたのですが、なぜあそこまで反体制勢力を徹底的に叩き潰す（殺害する）政治体制が必要だったのか、なんとなく分かる気がします。

現在は選挙により選出される大統領制をとっており、Acholi 族出身の「ヨウェリ・カグタ・ムセベニ大統領」が5年の任期を選挙毎に勝ち抜き、1986年から長期政権を保っています。

その間も反体制勢力との内戦があり、一部地域では現在も続いています。2006年8月12日、一応の停戦合意が成立し、ほぼ、安定した状態が続いています。

それでも散発的な反体制運動は続いており、私が到着した前の週も Baganda 国王支持派とウガンダ警察がウガンダ全土で衝突。警察の発砲により10数名の死者が出たようです。ウガンダ政府は衝突があったことは認めています。死傷者が出たとの正式発表はありません。

これに抗議をするためでしょうか、首都カンパラでは、警察との衝突の様子や、死者（負傷者？）が横たわっている様子の写真を日本の新聞紙程度の大きさの紙に印刷したもの売られています。この印刷物は当然違法なものようで、警官が来ると売り手はこそこそと逃げていきます。また、紙面を覗き込む人はかなりいますが、実際に買う人は少ないようです。

市民に話を聞いても「あれは懐古主義の一部の人が起こした事件だ」とあまり気にかけていないようです。外国人相手となると、本当のことが言えないだけなのかもしれません。。。

ウガンダ政府は治安維持を優先させているようで、首都カンパラを歩いている限りはそのような事件が起こったことは全く感じられません。地元の話では、幹線道路の途中やどの町でもチェックポイントがあり、通行する際や出入りをする際にはチェックを受けますが、先週末以来、明らかにチェックが厳しくなっているということです。

日本の外務省はウガンダに危険情報を出していますが、今日からはテニスの国際試合も開催されるため、世界各国から選手が集まっています。もちろん、日本の選手も来ています。偶然にも宿泊中のホテルがテニス選手の指定宿泊施設となっているらしく、選手のほぼ全員が泊っているとのこと。

比較的治安が安定しているウガンダですが、ホテルや事務所、商店をはじめ、ある程度以上の住宅や住宅街になると“武装した”警備員を雇うのが普通です。“武装した”といっても、ピストルなどではなく、軽装のガードマンでもライフル銃で武装しており、ある大使館前には警備会社の名前が書かれた、機関銃で武装した装甲車が止まっていました。

高級ホテルなどでは、入る際、手荷物の検査だけでなく金属探知機による身体検査も行われています。個人営業の商店でも“武装した”警備員が守っているので、武器があるのが当たり前の社会です。

また、警備は人海戦術なので、ウガンダの雇用では非常に大きな受け入れ先となっています。(つづく)

お知らせ

【NEW】建築・建材展2010 出展のご案内

住宅建材、店舗建材、ビル建材や設備機器など、建材・関連製品を紹介する総合展示会、建築・建材展が以下の通り開催されます。

塩ビ工業・環境協会は、「一般建材・関連製品ゾーン」に出展いたします。

- ・日 時 : 2010年3月9日(火)～3月12日(金)
10:00～17:00(最終日のみ16:30終了)
- ・場 所 : 東京ビッグサイト 東5・6ホール
(VEC小間番号:AC5016)
- ・主 催 : 日本経済新聞社
- ・入場料 : 当日一般 1,500円
下記HPより事前登録いただくと無料となります。
: <https://www.shopbiz.jp/w/?page=Prereg&action=form&expo=ac>
- ・建築・建材展2010のホームページをご覧ください。
: <http://www.shopbiz.jp/ac/>

編集後記

子供たちも少し大きくなったので、昔趣味でやっていたことをまたやるかと思いたちました。その一つがスキーです。今年の冬10年振りにスキー場に行きました。

いきなりリフトに乗り滑ったら怖かったです。昔スキー場で転倒し鎖骨を骨折しスノーモービルで搬送された記憶がよみがえりました。

さてスキーに向かう直前にそうだスキー靴を持って行こうと思い、探して履いてみることにしました。見つけて足を入れたら靴が見事真っ二つに割れました。まだ数回しか履いてないのに……。10年以上持つ製品がある塩ビはすごいです。(リマル)

関連リンク

[メールマガジンバックナンバー](#)

[メールマガジン登録](#)

[メールマガジン解除](#)



編集責任者 事務局長 東 幸次

東京都中央区新川 1-4-1

TEL 03-3297-5601

FAX 03-3297-5783

URL <http://www.vec.gr.jp>

E-MAIL info@vec.gr.jp
